

「らくらく会計」の最新改良事項について

下記に記載する内容は、社会福祉法人会計、学校法人会計、公益法人会計、労働組合会計及び収支会計についてです。すべてCバージョンのみでA2,B2版は含まれません。
特に表示がなければすべてのソフトに共通です。

(2012年4月3日)

Cシリーズ

伝票印刷で長い科目名もすべて表示されるように改善しました。

(2012年4月2日)

公益法人会計 C4

決算書印刷で年度表示をしないように改善しました。

(2012年3月23日)

Cシリーズ

内訳表の次年度予算で表題から「次年度」を外しました。

(2012年1月30日)

労働組合会計 C 1 ・ 収支会計 C 2

- ・ 決算書印刷で収支計算書の大科目以上を選択したときに前年度繰越金・次年度繰越金が表示されない問題を改善しました。

(2011年11月21日)

Cシリーズ (公益法人会計 C 2 を除く)

- ・ 各フォームの左上にフォームによっては部門名もできるように改良。

(2011年11月11日)

Cシリーズ (公益法人会計 C 2 を除く)

- ・ 伝票印刷で合計を選択すると部門の選択ができるように改良 (自動按分は必ずです。)
- ・ 各画面の左上に現在のデータパス名が表示されるように改良。
- ・ 伝票の部門付け替えについて
以前までは、部門付け替えを実行すると同時にすべての伝票番号の付け替えをしていましたので、続けて処理ができない不便さがありました。今回の改良で、処理画面を閉じたときにすべての伝票番号の付け替えをするように改良しましたので、連続して付け替え処理ができるようになりました。

(2011年5月30日)

公益法人会計 C4

- ・ 内訳表に法人名の表示・非表示の選択を追加しました。印刷ボタンを押したところでの選択になります。

(2011年5月27日)

社会福祉法人会計 C2

- ・ 「補助金明細表」で、借入金元金償還金補助金と借入金利息補助金の表示が正しくありませんでしたので改善しました。バージョンアップをして借入金元金償還金補助金のFlgH=9にしてください。

- ・決算書・資金収支計算書の印刷Eのページ番号の位置を改善しました。

(2011年5月21日)

学校法人会計 C2

- ・基本金明細表が2~4号も出るようになりました。
科目の設定についてはHPの学校法人会計にある「基本金明細表」をお読みください。

財産目録及び附属 明細書	財産目録
	固定資産明細表
	借入金明細表
	基本金明細表

- ・消費収支計算書と資金収支計算書にも脚注を追加しました。

(2011年4月30日)

社会福祉法人会計 C2

- ・合計との決算書で付属明細表のうち「補助金明細表」と「寄付金明細表」を追加しました。
- ・決算書に資金収支計算書の脚注を追加しました。

(2011年4月26日)

学校法人会計 C2

- ・私学財団調査書を整備しました。お気づきの点がございましたらご連絡ください。

(2011年4月25日)

公益法人会計 C4

- ・正味財産増減計算書の予算書の表題が“損益予算書”となっていましたので、“収支予算書（正味財産増減）”に修正しました。
- ・“収支予算書（正味財産増減）”の内部取引消去科目の金額が合計に出ていましたので、収支計算書と同様に“内部取引消去”で処理するように変更しました。
- ・予算書の部門合計において、内部取引科目も合計に金額が表示されていたので、次のような選択が出来るようにしました。

予算設定 ⇒ 合計を選択 ⇒ 再計算ボタン

内部取引科目 (FigG=30)の予算の扱い

合計に加える
 合計合計から除く

(2011年4月3日)

公益法人会計 C4 の内訳表表示の訂正他

- ・2011年3月24日以降のバージョンで、内訳表の収支決算書内訳表の前年度繰越金が表示されていない問題がありましたので、改善しました。表示がされていないのみで次年度繰越金の計算および表示には問題ありませんでした。
- ・内訳表の次年度損益予算書で、一般正味財産期首残高に繰越金設定の一般正味財産期末残高が自動的に入ってしまう問題がありましたので改善しました。
- ・小計部門を設定した場合の内訳表印刷が見やすいように、小計の部門表示は背景をグレーにし、金額等はゴシック体にしました。
- ・振替仕訳入力画面の検索画面で決算整理伝票と未決済伝票の「1」の付け外しが出来るように改善しました。

学校法人会計 C2 の内訳表表示の訂正

- ・内訳表の次年度消費収支予算書で、前年度繰越消費収入(支出)超過額に繰越金設定の翌年度繰越消費収入(支出)超過額が自動的に入ってしまう問題がありましたので改善しました。

(2011年3月24日)

公益法人会計 C4 の内訳表表示の訂正

- ・内訳表の次年度損益予算書が表示されていない問題がありましたので、改善しました。

(2011年2月17日)

予算書の表示について [公益 C3 のみ]

- ・予算に年度を表示させる、次年度予算書には(案)をつける の選択ができるようにしました。

バージョンアップ更新の表示変更

- ・2010年12月頃以降のバージョンでは、ソフトを立ち上げると同時にインターネットに接続して、バージョンアップ更新の有無を自動表示していましたが(更新があると緑の表示が出ていました)、今回より、「バージョンアップ」ボタンをクリックすると、バージョンアップ更新の有無が判別できるように変更しました。

(2011年2月2日)

公益法人会計 C4 の内訳表表示の訂正

- ・損益ベースの予算書の表示「収支予算書内訳表」になっていましたので、「損益予算書内訳表」との表示に変更しました。
- ・損益予算書内訳表にて至期日の表示が不正でしたので、改善しました。

(2011年1月28日)

摘要名の学習箱内で検索ができる機能を追加

- ・摘要名の学習箱の中で文字検索ができるようになりました。
- ・これに伴う、現預金入力で学習箱の摘要名が選択できない問題がありましたので改善しました。

按分処理時の総勘定元帳の表示改善

- ・按分処理をしているときに合計の総勘定元帳に按分対象でない部門も空白で表示されている問題を解消しました。

(2011年1月14日)

資金収支元帳表示の改善

- ・資金収支元帳の新方式印刷で表題が「総勘定元帳」となっていましたので、「資金収支元帳」にしました。

(2010年12月22日)

予算書表示の改善 [学校 C2 のみ]

- ・消費収支か資金収支かの表示が出ていませんでしたので、出るように改善しました。

(2010年12月13日)

総勘定元帳及び資金収支元帳の改善 [社福・学校・公益・労組 (C2 のみ)]

- ・従来方式ではご使用のパソコンまたはウイルス対策ソフトの種類によって、連続印刷途中で止まってしまう現象が出ていましたので、新方式を付け加えました。

予算書の表示について [公益 C4 のみ]

- ・予算に年度を表示させる、次年度予算書には(案)をつける の選択ができるようにしました。

(2010年3月11日)

仕訳入力時の「Shift」＋「*」の行複写の不具合を改善しました。

- ・「Shift」＋「*」で上の行複写が出来ますが、借方科目コードが「*」になる不具合がありましたので、改善しました。

公益法人会計 C4 の予算書について

- ・補正予算書印刷で収支予算書の「前期繰越収支差額」が表示されない問題がありましたので改善しました。

- ・次年度予算書印刷でエラーが発生する場合がありますので改善しました。

過年度の会計選択が容易になりました。

過年度のデータに切り替えたい場合、従来は、データパス名の変更で行っていました。

初期設定メニュー □ データパス名 □ パス名の変更

このデータパス名の変更は、手間がかかりますので、現在のバージョンでは、次のように会計のデータパス名が登録出来るようにしました。

メインメニューの中にある”会計登録&変更”のボタンを押すと、次の画面になります。

会計の登録 & 変更

データパス名の記録

変更前のデータパス名
2009¥

追加 削除 選択 キャンセル

設定例
1 2007年度会計 2007¥

No	会計年度	データパス名
1	2006年度会計	2006¥
2	2007年度会計	2007¥
3	2008年度会計	2008¥
4	2009年度会計	2009¥

- ・会計年度とデータパス名を設定（入力）してください。新年度更新処理を実行すると、自動的に追加されます。
- ・バージョンアップ時には過年度データ及び現在データを手動で設定してください。
- ・手動での入力手順は【□追加ボタンをクリック□会計年度の設定□データパス名の設定】です。
- ・ここで、設定した会計をクリックしてカーソルポインタを移動させ、”選択”ボタンを押すと、選択した会計年度のデータパス名に変更出来ます。
- ・間違っても存在しないデータパス名を設定してもデータフォルダが新規に作成されることはありません。
- ・不必要になった過年度の登録は削除ボタンを押すと、削除出来ます。
- ・[No]列は整列のための連番です。通常は、123・・・のようにしてください。追加ボタンをクリックすると自動でNoがつきます。

出力画面で、0円科目は非表示の選択が出来るようになりました。

試算表などの出力画面において、金額が0円の科目は次の選択スイッチで非表示にすることが出来るようにしました。これにより、特に使用する科目数が少ない部門等は、画面上での把握がたいへん便利になりました。

テスト

集計期間の変更
2008/04/01 ~ 2009/03/31

0円科目の表示
 する
 しない

補助科目集計 摘要名集計 印刷 エクセル出力 閉じる(Q)

P/LとC/Fの点検

貸借対照表(試算表) | 事業活動収支計算書(試算表) | 資金収支計算書(試算表)

code	科目名	前残高	借方	貸方	当残高
▶10000	【資産の部】				
11000	流動資産	800,000	2,000,000	800,000	1,800,000
11010	現金預金	600,000	2,000,000	800,000	1,800,000
11020	小口現金1	100,000	2,000,000	800,000	1,300,000
11030	小口現金2	500,000			500,000
12220	資産の部合計	600,000	2,000,000	800,000	1,800,000
12230					
20000	【負債の部】				
22080					
30000	【純資産の部】				
31140	次期繰越活動収支差額	800,000		1,200,000	1,800,000
31150	次期繰越活動収支差額	600,000		1,200,000	1,800,000
31160	(うち当期活動収支差額)			1,200,000	1,200,000
31170	純資産の部合計	600,000		1,200,000	1,800,000
31180	負債及び純資産の部合計	600,000		1,200,000	1,800,000
31190					

- 印刷画面では、当初から0円科目の非表示の選択が出来るようにしていましたが、画面上での金額確認が容易になるようにして欲しいとのご要望がありましたので、非表示選択が出来ような機能を加えました。
- この機能が使える画面は、試算表、決算書及び内訳表ですが、今後月別集計にもこの機能を付けたいと思っています。
- 予算書の画面は、予算入力の主目的でありますので、0円非表示の機能は設定していません。

複数部門会計の場合

現在開いている部門で使用する科目に限定した科目表示機能の追加

仕訳入力及び元帳の科目選択の画面で、科目一覧の窓を出すと、すべての科目が表示されます。

このとき、当該部門では使わないが、他部門では使う科目もすべて出てくるので、入力ミスをしてしまうという声が寄せられました。

そこで、部門ごとに使用する科目を任意に設定し、設定した科目のみが選択の箱に表示されるような機能を付け加えました。

【準備作業】

伝票入力画面 補助作業に進みます。

9の「表示科目の設定」をクリックしてください。

次のように各部門に必要な科目に「1」をたててください。

code	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	自	花	草	空	夢	食		
52000	経 費	3	2	0								
52010	消耗品費	0	2	0		1						
52015	教材費	0	2	0		1						
52020	光熱水費	0	2	0		1	1					
52030	旅費交通費	0	2	0		1	1					
52040	奨学費	0	2	0		1	1			1		
52050	車両燃料費	0	2	0		1	1					
52060	福利費	0	2	0					1		1	
52070	通信運搬費	0	2	0					1			
52080	印刷製本費	0	2	0					1			
52090	出版物費	0	2	0					1	1		
52100	研修費	0	2	0					1			
52110	修繕費	0	2	0						1		
52120	損害保険料	0	2	0					1	1		
52130	賃借料	0	2	0						1		
52140	公租公課	0	2	0								1
52145	広報費	0	2	0								1
52150	諸会費	0	2	0								1
52160	会議費	0	2	0								1

上記設定では、例えば「花部門」では消耗品費から車両燃料費までのみが表示されます。

【使用方法】

伝票入力または元帳の科目選択時に科目一覧を出した場合、選択枠の上に次のような選択が出ます。

「選択した科目のみ」にチェックをいれると、上記設定で「1」をいれた科目のみが表示されます。

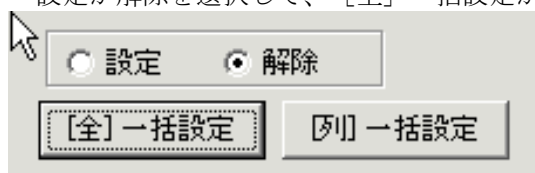


* 伝票入力における学習箱は学習したものが表示されますので、上記機能は反映されません。

【便利な設定方法】

1 一括設定・部門別一括設定での設定及び解除

設定か解除を選択して、[全]一括設定か[列]一括設定を選んでください。



表示させたくない科目が少ない場合は、先に一括設定をしておいて表示させたくない科目の「1」を外していく設定方法が良いと思います。

2 CSV入力・出力のボタンを用意していますので、CSV出力を行いエクセル画面で設定をしたものを、CSV入力で読み込むこともできます。

固定資産明細表が出力できるようになりました。

- 出力条件
減価償却累計額を使った間接法で会計処理をしていること
*) 間接法であっても決算書の出力で直接法として表示することができます。
- 出力方法
決算書の固定資産明細表を開くと次の画面になります。
摘要名は任意に入力できます。それ以外はデータから自動作成されています。
- エクセル出力も可能です。

借入金明細表が出力できるようになりました。

- 出力条件
科目設定にて次のように補助科目設定を行ってください。
- 出力方法
決算書の借入金明細表を開くと次の画面になります。
利率／返済期限／摘要名は任意に入力できます。それ以外はデータから自動作成されています。
- エクセル出力も可能です。

私学財団調査書が出力できるようになりました。

- 私学財団からオクケーをもらっています！
- 出力条件
初期設定メニュー → 勘定科目設定にて次の設定を行ってください。
- 出力方法
内訳表にて私学財団調査書作成を開いてください。次の画面になります。
貸借対照表／消費収支計算書／資金収支計算書がそれぞれ出ていますのでご確認の上、印刷をしてください。

登記用の財産目録が出力できるようになりました。

摘要名の学習箱を部門（会計）ごとに表示できるようになりました。

部門を間違えて入力してしまった場合に一括して伝票を部門移動できるようになりました。